

岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画
「第3次さんかくプラン」（素案）に係る意見募集の結果について

1 パブリックコメント

(1) 募集期間

平成23年12月15日（木）～平成24年1月13日（金）

(2) 周知方法

- ・「市民のひろばおかやま」
- ・市ホームページ
- ・配布・閲覧（男女共同参画課、行政資料室、各区役所・支所・地域センター、
公民館、男女共同参画社会推進センター）
- ・報道機関への資料提供

(3) 提出方法

電子メール、ファクシミリ、郵送又は持参

(4) 意見募集の結果

提出状況 9人（女性7人・男性2人） 24件

2 公聴会

開催日時	開催場所	参加人数	意見数
平成24年1月13日（金） 18:00～19:30	岡山市男女共同参画社会推進 センター「さんかく岡山」	12人	14件
		女性12人 男性 0人	
平成24年1月14日（土） 14:00～15:30	中区保健センター	4人	5件
		女性4人 男性 0人	
平成24年1月15日（日） 14:00～15:30	百花プラザ	9人	7件
		女性8人 男性 1人	
平成24年1月22日（日） 14:00～15:30	西ふれあいセンター	4人	14件
		女性3人 男性 1人	
	計	29人	40件
		女性27人 男性 2人	

周知方法

- ・「市民のひろばおかやま」
- ・市ホームページ
- ・配布・閲覧（男女共同参画課、行政資料室、各区役所・支所・地域センター、
公民館、男女共同参画社会推進センター）
- ・報道機関への資料提供

ご意見の概要及び本市の考え方

○プラン全体について

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	政令指定市になったことを踏まえたステップアップの視点はあるか。	政令指定都市だからというのではなく、市民意識・実態調査、行政評価などを踏まえ、市と市民の協働によりプランを策定しました。
2	本プランの位置づけを冒頭に明記し、他の具体的施策やプランに影響を及ぼすことを書くこと。	ご意見の趣旨を踏まえ、P2(3)計画の位置付け及び期間の中で「この計画は、岡山市都市ビジョン〔新・岡山市総合計画〕との整合性を図り、市政のあらゆる分野の施策の推進にあたり、男女共同参画の視点をいかすためのものです。また、男女共同参画社会基本法第14条第3項及びさんかく条例第9条に規定する基本計画として位置付けます。」と変更します。
3	条例の目的や基本理念と実際の活動とに乖離があるのではないか。	条例では男女共同参画社会の実現に向けての基本理念や骨格について示し、条例に基づいて施策を総合的かつ計画的に推進するためにさんかくプランを策定し、市と市民の協働により取り組んでまいります。
4	これからの最大の関心事は「少子化問題」。「さんかく条例」の基本理念と重複するものが多く、少子化問題と「さんかく条例」との協働作業が必要。問題解決の共有を考えてはどうか。	男女共同参画社会は、男女がお互いを認め合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会を築くことであり、社会全体に関わるものです。ご意見のように、少子化問題への取組との連携も大切な視点であり、仕事と生活の調和の推進など積極的に進めていきたいと考えています。
5	数値目標の中で、現状でほぼ達成している数値がH28目標値となっているものに関しては、少し数値を上げ、さらなる成果を求めてほしい。	毎年、目標としている数値以上をめざし、達成することで、より高い成果を求めていきたいと考えています。
6	目標値が控えめなものがあるので、例えばDV防止啓発講座「毎年500人以上」、固定的役割分担解消の啓発講座「6000人以上」はもう少し上げてはどうか。	

○重点目標1 男女の個人としての尊厳の尊重

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	「さんかくカレッジ」修了生の講師登用回数を数値目標にするのは難しいと思う。公民館で講座の企画委員をするなど、地域のリーダーとして活動する方が、岡山市全体の男女共同参画の啓発につながると思う。	「さんかくカレッジ」では男女共同参画推進のため、公民館等で活躍できる講師の人材養成を図ってきました。今後も修了生には地域のリーダーとして活躍していただくとともに、習得した知識を地域で活かしていただけるよう、講師として活躍できる機会を提供していきたいと考えます。

2	男性参加者が少ないような「さんかくカレッジ」では、意味が半減していると思う。市政全般に男女共同参画の理念をいかすというところが欠けてきているのではないか。人材養成が目的なら、カレッジ修了生の審議会登用率を目標としてはどうか。	男女が共に学び、男女共同参画について考えることは大変重要なことであり、貴重なご意見として「さんかくカレッジ」の事業内容等にいかしていきたいと考えています。また、審議会委員への登用については、市民の立場からのご意見をいただくために公募委員の募集もあり、カレッジ修了生には積極的に応募していただき、男女共同参画の視点を広めていただきたいと考えています。
3	「親育て」を提案する。「さんかく条例」「子育て支援」を有効なものにするには親が子どもと一緒に勉強する必要がある。	施策の方向性(1)の具体的施策「家庭や地域における男女共同参画に関する学習機会の提供」の中で取り組んでいきたいと考えています。
4	情報教育の推進のところで、「メディアリテラシー教育に関する研修」とあるが、どのようにするのか。	小・中学校のメディア・リテラシーの授業や公民館での講座などを通じて、児童・生徒、保護者をはじめ多くの方が情報を主体的に読み解き、判断できるよう取り組んでおり、第3次さんかくプランにおいても引き続き取り組んでいきたいと考えています。

○重点目標2 性別に基づいて起こる人権侵害の禁止

NO.	ご意見の要旨	市の考え方
1	DV被害者にデートDV被害者も含まれることを明記すること。	ご意見の趣旨を踏まえ、デートDVの文言を追記しました。
2	女性に対する人権侵害の防止及び相談体制の充実で、市職員研修はとりわけ重要。異動があるため繰り返し実施することが必要である。関係職場研修では、「当事者」の声を踏まえた研修をすること。	職員研修は重要であると認識しており、ご意見を参考に工夫していきたいと考えています。
3	DV被害者の相談員は非常に難しい問題に対応する大変な仕事なので、十分な支援を受けられるよう考えてほしい。	相談員の健康確保、精神的なフォロー、スキルアップなど、継続して行ってまいりたいと考えています。
4	性犯罪への視点を入れてはどうか。	施策の方向性(1)の具体的施策「相談体制の充実」の中で、性犯罪被害者を個別に取り上げてはいたませんが、犯罪被害者や家族が相談を通じて情報提供を受けられるよう、相談体制を充実していくことを位置づけています。
5	DVは被害者を保護するだけでなく、加害者の悩みも積極的に聴く体制を作り、加害者も救わなければ真の解決にはならない。「DV加害者と面談し再発防止を図るとともに具体的対策を研究」を提案する。	施策の方向性(2)の具体的施策「加害防止のための調査研究」の中で、加害者への対応や再発防止に向けた取組についての研究を進めていきます。

○重点目標3 固定的な性別役割分担の解消

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	数値目標の「市の実施する固定的な役割分担を解消するための啓発講座の受講者数」だが、参加者が固定化している印象を受ける。どのように働きかけをして目標値に近づけていくのか。	参加者層の裾野を広げていくことについては、市が主催するイベントをはじめ、さまざまな機会をとらえて、更に啓発を進めていきたいと考えています。
2	意識啓発は、働いている人も多いので職域への働きかけも必要ではないか。	施策の方向性(1)の具体的施策「地域・家庭・職場における固定的な性別役割分担意識の是正のための啓発」の「事業者への男女共同参画出前講座の実施」で引き続き取り組んでまいります。

3	情報誌のタイトルが「DUO」のような外来語では意味がわかりづらいので、わかりやすい言葉を加えてはどうか。また、紙質・頁数を落としてでも、手元に置けるよう「DUO」を全戸配布してはどうか。	情報誌の全戸配布については現時点では考えておりませんが、ご意見の趣旨を踏まえ、市民の皆さんにわかりやすいようタイトルに注釈を加えるなど今後も工夫を重ね、情報誌の周知を進めていきたいと考えています。
4	先進的な事業所を顕彰するなどの施策に加え、事業所での男女平等を促進する具体的な政策を打ち出すことは難しいか。指導できれば更にスピードをもって進めることができるのではないだろうか。	事業所における男女共同参画の推進が人材の確保や業績の向上につながることに理解が広がるよう、男女共同参画を積極的に推進する事業者の顕彰を含め、さまざまな機会をとらえ広報の充実を図ってまいりたいと考えています。
5	防災についてはどこに入っているのか。	施策の方向性(3)の具体的施策「まちづくり・防災分野などにおける女性の参画の拡大」の項で、防災計画等へ女性の視点を盛り込んでいくよう取り組みを進めてまいりたいと考えています。

○重点目標4 仕事と生活の調和の推進

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	保育所の空き状況はほぼゼロで、市中心部の保育園では空き待ちが存在すると聞くのに待機児童ゼロとはどういう意味だろうか。	待機児童とは、通常交通手段によって20～30分程度で登園可能な園がまったく無い場合などを指します。岡山市では、現在のところ待機児童はゼロですが、地域によって事情が異なり、すべての皆様をご希望の時期にご希望の保育園に入園できているという状況にはなく、市としても問題意識をもって対応してまいりたいと考えています。
2	男性も育児参加できる仕組みへの応援、男性の育児参加義務付けの勧めなど、プランの中で具体的に制度を進める方法はないか。	仕事と生活の調和を進めていくには事業主の理解が大きいので、啓発を中心に積極的に働きかけていく必要があると考えています。
3	男女共同参画の惟しは男性の参加が少ない。男性の意識が問題。「男性も育児休業を取ろう」と言っても職場が取りにくい雰囲気なら、育児休業で休みにくい。男性参加をより以上に呼びかけてほしい。	第3次プランでは「男性にとっての男女共同参画の推進」を施策の方向性として新たに盛り込みました。講座・講演会などの機会をとらえ、男性が参加しやすい工夫をしていきたいと考えています。また、働き方の見直しなど、事業者の方々も参加していただけるよう働きかけを行いたいと考えています。
4	男性も生きにくい時代になっている。男性相談窓口はどのように設置するのか。少ないけれど男性DV被害者もいる。	施策の方向性(3)の具体的施策「男性のための相談体制の整備」で、男性も相談しやすい取り組みを進めていきたいと考えています。男性DV被害者については、「さんかく岡山」で相談を受けます。

○重点目標5 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	成果指標の「中学生の性に関する相談の充実度」に対応できる項目がない。例えば、「親への性教育の実施」のような項目で、中学生の相談先のおとなの知識や情報が充実している等、受け皿の充実、また、具体的に性の相談をしやすくする施策などがない。	成果指標は、このプランに基づいて市民・事業者・市の行うさまざまな男女共同参画の取組が、市民生活の中にどのように浸透し、成果として現れたかを見るための指標です。ご指摘の指標については、重点目標5に関わるさまざまな取組の成果としてはかるものとなります。

2	健康をおびやかす問題についての対策の推進に、「禁煙教育」と「がん教育」の追加を提案する。	健康市民おかやま21の推進の中で取り組んでいるため、ご意見の趣旨を踏まえ、施策の方向性(2)の具体的施策「健康づくりのための知識の普及啓発」の主な事業に「健康市民おかやま21の推進」を追記しています。
3	地域で栄養改善活動をしており、保健センターが栄養教室を実施しているため、「食育に関する講座の開催」の担当課に健康づくり課も加えてはどうか。	施策の方向性(2)の具体的施策「食育の推進」について、ご意見の趣旨を踏まえ、担当課に「健康づくり課」を追記しています。
4	「食育の推進」について、地域の婦人団体・栄養改善協議会の栄養委員で、公民館などを会場に栄養教室的な取り組みをしている。女性の参加は多いが、参加を呼びかけても男性は少ない。資料を配布し、食の必要性、バランスなどを推進しているので関心が次第に増えていると思う。	食育の推進は、男女を問わず生涯を通じた健康づくりに欠かせないものであるため、重点目標5に位置づけています。市民の皆さんの地域における日常的な取組は大変効果的であると考えています。

○重点目標6 政策・方針の立案及び決定過程への男女共同参画の促進

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	「政策・方針の立案及び決定過程への男女の共同参画社会の促進」ということで指標が2つしかなく、少し物足りない感じがする。	成果指標として毎年継続して把握できるものを取り上げています。
2	地域で、男性は女性に役を任せておれない、女性も後ろにひく傾向がある。団体へ少し細かな方法・働きかけをしてはどうか。	町内会は自治組織であり、市が直接関与することはできませんが、さんかく岡山を中心に出席講座を実施するなど、地域における男女共同参画の推進に向けた広報、啓発を中心に取り組みたいと考えています。
3	女性の町内会長を増やすにはどうしたらいいか。	
4	地域社会の変革には、町内会が変わっていくことが大きな役割を果すと思う。単位町内会長に占める女性の割合を高めていくことが効果的ではないか。町内会の事務局は岡山市が担っているのだから、具体的に進めることも可能ではと思う。	
5	女性リーダーの養成ということで「さんかくカレッジ」開催があがっているが、地域で男女共同参画の視点をもった人に活躍してほしいなら、もっと基本的なことを幅広く伝えていくことが必要ではないか。	「さんかくカレッジ」は男女共同参画の視点をもって地域で活躍できる人材を養成することをめざしています。貴重なご意見として、今後、さんかく岡山を中心に出席講座を実施するなど、啓発を中心に取り組みたいと考えています。

○重点目標7 国際的な取組についての理解及び協調、連携

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	成果指標「ジェンダーという言葉の認知度」は、根本的な認識の周知なので重点目標3ではないだろうか。ここでは国際会議参加者数とか、外国人の相談数の増加などのようなものではないだろうか。	「ジェンダー」という言葉は、ご意見のとおり、重点目標3「固定的な性別役割分担の解消」に関わるものですが、国際的に広く使われており、重点目標7にあるように、我が国の男女共同参画の取組が世界の動きと連動しながら進められており、世界の動きを理解することは地域の男女共同参画推進に必要であることから、重点目標7に位置づけました。

2	「ジェンダー」という言葉より情報誌「DUO」の認知度を成果指標とするほうがいい。	ジェンダーが意味する「社会的・文化的に形成された性別」への理解は重要と考え、新さんかくプランに続き第3次プランも成果指標として設定しました。
---	--	--

○重点目標8 市と市民等とのパートナーシップによる協働

NO.	ご意見の概要	本市の考え方
1	指標に「さんかくウイーク」の認知度があるが、参加者の年齢はわかるだろうか。	「さんかくウイーク」の行事の中にはアンケートで参加者の年代をお尋ねしているものもあり、参加の少ない年代層への働きかけをすすめるなど、事業にいかしてまいりたいと考えています。
2	数値目標「さんかくウイーク参加者数」「さんかくウイーク登録団体参加率」と、成果指標「さんかくウイーク認知度」は同一事業を数(量)で表しており、手抜き感がする。市民とのパートナーシップなら、「市民協働事業実施団体数」もしくは「市民協働事業参加者数」はどうか。	「さんかくウイーク」は男女共同参画を推進するため、市民及び事業者の協力の下に実施するものとして条例にも規定されている重要な事業です。本市の男女共同参画推進の啓発の柱であり、幅広い市民の方に男女共同参画に親しみをもってもらえる事業と位置づけています。従って、参加者数や認知度については毎年把握することが必要と考えます。なお、登録団体参加率は、さんかく岡山登録団体の活動に関する指標であるため、ウイークそのものの指標とは異なります。市民協働事業は、市民と市の協働による啓発事業であり、一層充実させてまいりたいと考えております。
3	「さんかくウイーク」は啓発による底上げより、もっと困難なことへの挑戦をめざしてはどうか。	「さんかくウイーク」は実行委員会方式により市民と行政の協働により実施し、毎年新たな企画を加えてきました。今後も新たな試みに挑戦するなど、貴重なご意見として事業にいかしてまいりたいと考えています。
4	「さんかく岡山」の役割として期待することというグラフの中に、「男性向け講座の充実」というのがあるが、男性向け講座ではどのようなことをしているのか。	男性、特に働く世代の男性に集まっていただき、子育てや家事参加などを体験していただいています。